

第103回 発電用設備規格委員会 議事録

1. 日 時：2022年9月22日（木）10:00～16:50
2. 場 所：WebEX システムによるオンライン開催
3. 出席者：委員 27 名（委員代理含む）、敬称略

【委員】

笠原委員長(東大)、高橋副委員長(理科大)、伊阪幹事(関西電力)、鈴木(中部電力)、波木井(東電)、木村(NIMS)、堂崎(東北大)、中澤(火原協)、酒井(横国大)、町田(TEPSYS)、浅山(JAEA)、大谷(MFBR)、平野(日立GE)、小山(日本製鋼所M&E)、渋鋸(IHI)、楠(日本原電)、爾見(発電技検)、中村(川崎重工)、三浦(電中研)、朝田(三菱重工)、山口(HSB ジャパン)、室伏(東芝ESS)、高柳(電機協会)、藤田(三菱重工、火専長)、松永(東芝ESS、原専長)、西井(電源開発、材専長)

【委員代理】

戸張(QST)：橋爪委員(東北大、核専長)代理

【欠席】

川畑(東大)

【アドバイザー】

なし

【常時参加者】

なし

【オブザーバ】

藤澤(原子力規制庁)、釜屋(原子力安全システム研究所)、伊藤(IHI)、野村(CS エンジニアリング)、高屋(JAEA)、小口(三菱重工)、中村隆夫(大阪大)、白井(電中研)、清水(日立GE)、中村いずみ(防災研)、岡島(JAEA)、安藤(日立GE)、北条(三菱重工)

【事務局】

花井、松岡、渡邊

4. 配布資料

103-0：第103回 発電用設備規格委員会議事次第案

103-1：第102回 発電用設備規格委員会議事録案

103-2-1：発電用設備規格委員会名簿案

103-2-2：専門委員会名簿案

103-3-1-1_アルミバスケット事例規格案_原専書面投票 No. 680 規格委書面投票 No. 564 結果報告及び事例規格案修正提案

103-3-1-1_付録_ご意見反映事例規格案修正箇所

103-3-1-2-1-1_事例規格 添付-1_見え消し版_原専 LB680 規格委 LB564 コメント反映版

103-3-1-2-1-2_事例規格 添付-1(解説)_見え消し版_規格委 LB564 コメント反映版

103-3-1-2-1-3_事例規格 添付-2_見え消し版_規格委 LB564 コメント反映版

103-3-1-2-1-4_事例規格 添付-2(解説)_見え消し版_規格委 LB564 コメント反映版

103-3-1-2-2-1_事例規格 添付-1_クリーンアップ版_原専 LB680 規格委 LB564 コメント反映版

103-3-1-2-2-2_事例規格 添付-1(解説)_クリーンアップ版_規格委 LB564 コメント反映版

103-3-1-2-2-3_事例規格 添付-2_クリーンアップ版_規格委 LB564 コメント反映版

103-3-1-2-2-4_事例規格 添付-2(解説)_クリーンアップ版_規格委 LB564 コメント反映版

103-3-1-3_アルミバスケット事例規格案公衆審査計画

103-3-2 流力振動および熱疲労評価指針の設計・建設規格への取り込み

103-3-3_81-2-7-2_92-C-2-1-2_ASME SDSC Roadmap_Rev_E_レビュー依頼

103-3-3 参考_81-2-7-3 SDSC Roadmap 抄訳案

103-3-3 添付_81-2-7-2_92-C-2-1-2_ASME SSDC Roadmap_Rev E_レビュー依頼添付
 103-3-4-1_2021 年度活動報告書 PPT 版
 103-3-4-2_2021 年度活動実績報告書
 103-3-4-3_JSME 活動実績報告書への意見
 103-4：第 92 回発電用設備規格委員会幹事会議事メモ
 103-5：投票結果
 103-6：発電用設備規格に関する質問受付及び回答状況
 103-7：火力専門委員会報告
 103-8：原子力専門委員会報告
 103-9：材料専門委員会報告
 103-10：核融合専門委員会報告
 103-11-1_学協会規格類協議会の報告
 103-11-2_2022 年度規格ピアレビュー
 103-11-3-1_材料審議規約案及び再発防止対策修正案再投票_2022. 9. 22_Fix
 103-11-3-2_参考資料_材料専門委員会設置趣旨
 103-11-4_ASME Code Week (2022 年 8 月) 概要報告
 103-11-7-1：規格出版状況・事例規格の発行形態
 103-11-7-2_電子配信パンフレット (案)
 103-12-1_詳細規定 202X 版 II 章改訂提案書_改
 103-12-2_補足説明資料
 103-12-3_【投票資料 1】新旧対比表 表 II-1-2 ASME Section II 材 許容応力表
 103-12-4_【投票資料 2】新旧対比表 表 II-1-3 ASME Code Case 材 許容応力表
 103-12-5_【投票資料 3】新旧対比表 第 II 章補遺
 103-12-6_規格委員会書面投票 No. 523 (第 II 章 材料 改訂案) 書面投票意見と分科会回答 (2020128 完)
 103-12-7_火専書面投票 No. 95 投票意見と対応案 r2_2020810 意見対応終了
 103-13-0：設計・建設分科会 審議案件
 103-13-1_DC22-19_解説 VVB-3390 JIS B 8265 タイトル正誤表_R4_規格委
 103-13-2_DC22-15_式(解説 PVE-2_3) 右辺第二項正誤表_R3_規格委
 103-14-0：溶接規格分科会審議案件
 103-14-1 溶接規格 2022 年版_公衆審査結果及び回答(案)
 103-14-2 W21-11 規格委員会書面投票意見意見回答 (案)
 103-14-3 溶接規格 正誤表(案) 書面投票提案
 103-15-0：資料リスト
 103-15-1_補修章の正誤表 (試験規定の引用先の修正)
 103-15-2_FSR-21-03_補修章における検査章の参照先の見直し
 103-15-3 添付 E-10 の改定に伴う本文改定
 103-15-4 維持規格 2022 年版公衆審査計画
 103-16-1 規格委 LB No. 555 (Su 値見直し) 意見対応
 103-16-2 規格委 LB No. 570 (2021 年 JIS 改正対応) 意見対応
 103-16-3 規格委 LB No. 571 (正誤表) 意見対応
 103-16-4 材料規格 (2022 年版) 改定案_公衆審査計画
 103-17：高温規格分科会審議案件リスト
 103-17-1_規格委員会書面投票 No. 557 意見対応案
 103-17-2_規格委コメント対応 (適用時間適正化)
 103-17-3(ETDS21-001)_316FR 鋼のクリープ特性式の改定対応_意見回答案
 103-17-4_高速炉関連規格の公衆審査計画
 103-17-5(ETD22-008)「800℃までの高温 S 値の見直し」(材料規格改定) の高速炉規格への反映
 (103-18 欠番)

103-19-1_配管減肉規格改定案_2022 年版公衆審査終了後の軽微な修正(PWR)
 103-19-2_配管減肉規格改定案_2022 年版公衆審査終了後の軽微な修正(BWR)
 103-20 : NC-CC-008 弾塑性応答解析に基づく耐震 S クラス配管の耐震設計に関する代替規定
 規格委電子メール審議#67 の意見対応にともなう軽微な修正 (書面投票提案)
 103-21-1_環境疲労評価手法 (2022 年版) 公衆審査結果
 103-21-2_環境疲労評価手法_英訳版を含めた今後の進め方_20220922 規格委 R0
 103-21-3-1_環境疲労評価手法_2022 年版改定案 公衆審査版修正提案書_規格委_R0
 103-21-3-2_環境疲労評価手法(2022 年版) 公衆審査版修正提案一覧表 20220915_R7
 103-21-3-3_公衆審査版からの修正リスト_書面投票対象_環境疲労評価手法 2022 年版_R3
 103-21-3-4_2022 年版_公衆審査からの変更_見え消し原稿_220915
 103-21-4-1_環境疲労評価手法 2022 年版英訳版改定提案_規格委_R0
 103-21-4-2_環境疲労評価手法(2022 年版) 英文版_和英比較_220915 R1a
 (103-22 欠番)
 103-23-1-1_SA ガイドライン改定案_公衆審査版からの変更提案
 103-23-2-1_BWR SCV 健全性評価ガイドライン改定案見え消し版_正式発行向けチェック版
 103-23-2-2_PWR PCCV 健全性評価ガイドライン改定案見え消し版_正式発行向けチェック版
 103-23-2-3_PWR SCV 健全性評価ガイドライン改定案見え消し版_正式発行向けチェック版
 103-23-3-1_BWR SCV 健全性評価ガイドライン改定案クリーンアップ版_正式発行向けチェック版
 103-23-3-2_PWR PCCV 健全性評価ガイドライン改定案クリーンアップ版_正式発行向けチェック版
 103-23-3-3_PWR SCV 健全性評価ガイドライン改定案クリーンアップ版_正式発行向けチェック版
 103-24-1_規格専資料表紙 220920
 103-24-2_規格委投票 No. 565 意見回答案①
 103-24-3_規格委投票 No. 565 意見回答案②_大谷委員
 103-24-4-1_565_回答 (大谷)
 103-24-4-2_565_添付 (大谷)
 103-24-5_13-04-3_例題の実施内容案 R2_Clear
 103-24-6_ガイドライン修正案_規格委コメント対応反映
 103-25-1 竜巻ガイドライン改定案 規格委員会の書面投票 no. 566 の対応について
 103-25-2 「規格委提案 来歴表 竜巻ガイドライン改定提案」
 103-26-1 推奨クリープ及びクリープ破断試験方法 (案) (規格委員会提案版)
 103-26-2 推奨クリープ及びクリープ破断試験方法 (案) (材専審議結果)

5. 議事内容

(1) 開 会

出席者を点呼し、定足数 (委員総数の 2/3 以上) を満足することを確認した。

(1-1) 議事次第 確認

(1-2) 前回議事録の確認【資料 103-1】

事務局より概要が説明され、承認された。

(2) 委員人事

(2-1, 2) 規格委員会及び専門委員会委員人事【103-2-1, 2-2】

規格委員会及び各専門委員会の委員人事案件について報告・審議が行われ、全会一致で承認された。
 内容は以下のとおり。

➤ 規格委委員会

[再任] 爾見委員 (発電技検)

[退任] —

[新任] —

➤ 火力専門委員会

〔再任〕 張委員（電中研）

〔新任〕 堀内委員（火原協）、櫻井委員（電気協会）、鈴木委員（JERA）

〔退任〕 高木委員、澤野委員、河本委員

➤ 原子力専門委員会

〔再任〕 ー

〔新任〕 ー

〔退任〕 ー

➤ 材料専門委員会

〔再任〕 山崎副委員長（千葉大）、木村委員（NIMS）、山田（中部電力）、高橋由紀夫（電中研）、澤田（NIMS）、朝田（三菱重工 原子力）、斉藤（三菱重工 総研）、松尾（日本製鉄）

〔退任〕 ー

〔新任〕 ー

➤ 核融合専門委員会

〔再任〕 鈴木委員（日立）、中曽根（理科大）、渋谷（IHI）

〔新任〕 ー

〔退任〕 ー

(3) 優先的に審議すべき事案またはトピックス

(3-1) 使用済燃料貯蔵施設規格 アルミ合金事例規格に関する審議：【資料 103-3-1】

（説明者：金属キャスク用アルミバスケット材料検討タスク（フェーズ2）波木井主査、永田タスク員）
アルミ合金事例規格に関する技術的修正案を対象に再投票として実施された原専書面投票 No. 680 及び規格委員会書面投票 No. 564 の結果及び意見対応案とこれらに伴う規格案の編集上の修正について提案説明が行われ、審議が行われた。内容は、以下のとおり。

➤ 意見対応に伴う事例規格案の主要改定点を以下の3点である。

①J 積分に関する添付-1 の2.4.2 項の規定と添付-2 の2.1.1 項の規定を関係付けるため添付-1 の2.4.2 項に同一条件であれば破壊靱性試験の判定基準（J 積分）として添付-2 の2.1.1 項の規定に基づき求めた判定基準（規格値）を用いてもよい旨の記載を追加した。更に、添付-2 の2.1.1 にJ 積分は添付-1 の付録E を用いて求める旨を追加した。

②耐衝撃性に関する添付-1 の2.4.3 項の規定と添付-2 の2.1.1 項の規定を関係付けるため、添付-2 の2.1.1 項に基づき求めた耐衝撃性評価パラメータを用いてもよい旨の記載を追加した。

③JIc は高温の方が常温より低下することを前提としているが、逆の可能性も考慮して添付-2（解説）の（解説2.1.2(2)）に最高使用温度で試験をする場合でも常温でも試験を行い低い方のJIc で評価することが望ましい旨の記載を追加した。

➤ 意見対応状況として、保留意見1件が残るが再投票に進むことの同意は得られていることを確認し、修正案に対して15日間の書面投票を（1次・再々投票）を行うことが承認された。

(3-2) 流力振動評価指針 及び 高サイクル熱疲労評価指針の設計・建設規格への取り込み方針について【資料 103-3-2】（説明者：原子力専門委員会 疲労評価分科会 疲労評価手法作業会 釜屋主査）

流力振動または熱による高サイクル疲労に関する機械学会指針を設計・建設規格に取り込む方針について報告が行われた。内容は以下のとおり。

・JSME S-012 は、直行流を受ける円筒状構造物の流力振動評価を対象とした指針であり、想定される損傷モードは高サイクル疲労である。同指針の本文を強制力のない付録5-A として設計・建設規格に取り込む。取り込みの際に技術的な見直しは実施せず、疲労曲線について規格本文を参照する形式とすること及び用語の変更にとどめる。

・JSME S-017 は、温度差を有する流体が混合する際に生じるランダムな温度変動に対し、配管の高サイクル熱疲労評価の手法を規定した指針である。同指針の本文を強制力のない付録5-B として設計・建

設規格に取り込む。こちらも技術的見直しは実施せず、疲労曲線の参照方法、用語等の形式的な変更にとどめる。

- (3-3) ASME BPV-III Seismic Design Steering Committee Roadmap のレビュー依頼について【資料 103-3-3】
原子力専門委員会 松永委員長より、AMSE にて策定中の耐震設計規定高度化に関するロードマップについて紹介があり、レビューの依頼が行われた。

- (3-4) 2021 年度規格委員会活動成果報告書(案)のレビュー結果及び承認【資料 103-3-4】
伊阪幹事より、2021 年度規格委員会活動成果報告書(案)のレビュー結果について報告が行われた。その場にて追加コメントや意見はなく、成果報告書として承認された。

(4) 発電用設備規格に関する審議

(4-1) 発電用火力設備規格に関する審議：【資料 103-12】

(説明者：藤田委員長)

- 詳細規定 第Ⅱ章 材料 改定提案(ASME Gr. 91 系鋼改定採入等)：火力専門委員会から再書面投票の実施が提案され、審議が行われた。内容は以下のとおり。
 - ・規格委員会書面投票 No. 523 での反対意見を含む意見対応として改定案に対し技術的変更を行うこととし、意見対応案の承認ならびに再書面投票の実施を提案する。
 - ・審議の結果、意見対応案ならびに、修正案に対して規格委員会にて 30 日間の再書面投票を行うことが全会一致で承認された。

(4-2) 発電用原子力設備規格に関する審議

原子力専門委員会松永委員長から概要を説明後、各分科会代表から個別に議案の説明及び審議が行われた。各規格の審議結果は以下のとおり。

(4-2-1) 発電用原子力設備規格 設計・建設規格：【資料 103-13】

(説明者：設計・建設分科会 朝田主査)

正誤表発行 2 件の提案があり、審議が行われた。内容は以下のとおり。

- 正誤表の発行 1：解説 VVB-3390 で引用した JIS B 8265 のタイトルに以下の誤記があった。挙手による採決の結果、全会一致で正誤表発行が承認された。(資料 103-13-2)
 - (誤) 圧力容器の構造一般**基準**
 - (正) 圧力容器の構造一般**事項**
- 正誤表の発行 2：解説 PVE-2.3 式 第 2 項の分母に以下の誤記があった。数式に関する誤記として書面投票実施が提案され、実施中の原子力専門委員会投票の可決を条件に 15 日間の書面投票を行うことが全会一致で承認された。(資料 103-13-3)
 - (誤) $S\eta = PD/(2t) + P(D_i + 2t)/(2(D_i + 2))$
 - (正) $S\eta = PD/(2t) + P(D_i + 2t)/(2(D_i + t))$

主な議論は以下のとおり。

- 誤記チェックについては相当の時間と費用をかけてきたはずだが、誤記が減っていない印象を受ける。何か問題があるのではないかと⇒今回の 2 例目は、参照した告示の改定版にあった誤記をそのまま転記してしまったという背景があり、特殊なケースと考えている。

(4-2-2) 発電用原子力設備規格 溶接規格：【資料 103-14】

(説明者：溶接分科会 小口幹事)

- 2022 年版公衆審査結果ならびにご意見対応に関する審議：2022 年版に対する意見受付が 9/2 終了したが、意見として不適切な記載が指摘された。指摘事項を拝承する対応案について説明が行われた。

挙手による採決の結果、実施中の原子力専門委員会の書面投票可決を条件に規格委員会にて 30 日間の書面投票を行うことが承認された。(資料 103-14-1)

- ・第 1 部 溶接規格 表 N-2036-1：分数表記において、分子と分母の間で不用意な行替えがある
- ・第 4 部 解説 N-0050：タイトルは「溶接技能者及び溶接オペレータ」であるが、文中には溶接オペレータの記載が抜けている。
- 溶接規格 2022 年版改定案（その 2）「余盛高さの規定」の改定：資料 103-14-2
- ・規格委員会書面投票 No. 〃の意見対応案について説明が行われ、審議が行われた。挙手による採決の結果、意見対応に伴う修正を公衆審査後の変更として行うことについて、書面投票を行うことが全会一致で承認された。
- 正誤表の発行提案：資料 103-14-3
- ・溶接規格 2016 年版及び 2020 年版の誤記について正誤表の発行提案が行われた。また、2022 年版については、公衆審査後の修正として処置することが合わせて提案された。審議の結果、30 日間の書面投票を行うことが全会一致で承認された。

主な議論は以下のとおり。

- 公衆審査 解説の指摘事項について、本文で改定された内容が解説で抜け落ちたのはなぜ？⇒溶接規格の特殊性として、解説が「第 4 部」として本文にあたる第 1～3 部と並列した構成になっており、本文と解説の対応関係が見えにくくなっていることが挙げられる。

(4-2-3) 発電用原子力設備 維持規格に関する審議【資料 103-15】

(説明者：維持規格分科会 野村主査)

- 規格委員会書面投票意見対応案：以下の件について意見対応案が説明され、承認された。
- ・補修章の正誤表（試験規定の引用先の修正）：資料 103-15-1
- 新規提案：以下の 2 件について提案説明が行われ、15 日間の書面投票を行うことが承認された。
- ・補修章における検査章の参照先の見直し：資料 103-15-2
- ・添付 E-10 2 パラメータ評価法の改定に伴う本文規定の改定：資料 103-15-3
- 公衆審査計画：以下の件について公衆審査を行うことの提案説明が行われ、承認された。(資料 103-15-4)
- ・審査対象：維持規格 2022 年版及び事例規格集
- ・実施期間：2022 年 10 月下旬より 1 ヶ月

(4-2-4) 発電用原子力設備 材料規格に関する審議：【資料 103-16】

(説明者：材料分科会 山田主査)

- 2022 年版改定提案その 3「材料規格 2012 年版 技術評価における「適用にあたっての条件」への対応（一部 Su 値の見直し）：規格委書面投票 No. 682（再投票）での意見対応案について説明が行われた。挙手による採決の結果、意見対応が承認され、可決が確定した。(資料 103-16-1)
- 2022 年版改定提案その 4「2021 年 JIS 改正対応」：規格委書面投票 No. 683 での意見対応案について説明が行われた。挙手による採決の結果、意見対応案が承認され、可決が確定した。(資料 103-16-2)
- JIS H325 記号 (V) に関する正誤表の提案：規格委書面投票 No. 684 での意見対応案について説明が行われた。挙手による採決の結果、意見対応案が承認され、可決が確定した。(資料 103-16-3)
- 2022 年版公衆審査計画：公衆審査の実施について提案説明が行われ、挙手による採決の結果、全会一致で承認された。(資料 103-16-4)

(4-2-5) 発電用原子力設備規格 高速炉規格等に関する審議【資料 103-17】

(説明者：高温規格分科会 高屋主査)

- 高速炉規格 2022 年版改定提案その 5 の審議：規格委員会投票 No. 557 で意見が出された以下の 2 項

目について意見対応案及びこれに伴う編集上の修正について説明が行われた。挙手による採決の結果、全会一致で承認され、改定提案の可決が確定した。

- ・「2019 年および 2020 年 JIS 改正対応」（材料規格改定）の高速炉規格への反映」：資料 103-17-1
- ・設計応力強さ St、設計クリープ破断応力強さ SR および設計緩和強さ Sr の適用時間の明確化」：資料 103-17-2
- 高速炉規格信頼性評価ガイドライン改定案に関する審議：
 - ・規格委員会投票 No. 560 で意見が出された「設計・建設規格第 II 編における 316FR 鋼のクリープ破断関係式及びクリープひずみ式の改定に伴う解説及び付録の改定」について意見対応案及びこれに伴う編集上の修正について説明が行われた。挙手による採決の結果、全会一致で承認され、改定提案の可決が確定した。（資料 103-17-3）
 - ・公衆審査の実施について提案説明が行われ、挙手による採決により承認された。（資料 103-17-4）

(4-2-6) 使用済燃料貯蔵施設規格に関する審議；審議なし【資料 103-18 欠番】

(4-2-7) 配管減肉管理規格【資料 103-19】

（説明者：中村隆夫主査）

- 公衆審査が終了した以下の 2 規格について、公衆審査版からの修正提案が説明された。内容は記載の適正化である。挙手による採決の結果、軽微な修正として発行版に反映することが承認された。
 - ・加圧水型原子力発電所 配管減肉管理技術規格 2022 年版（資料 103-19-1）
 - ・沸騰水型原子力発電所 配管減肉管理技術規格 2022 年版（資料 103-19-2）

(4-2-8) 配管耐震評価に関する事例規格に関する審議：【資料 103-20】

（説明者：中村いずみタスク主査）

- 事例規格改定案に対する公衆審査は意見なしで終了しているが、公衆審査版に対し、追加で修正を行う提案について説明が行われた。
- 審議の結果、原子力専門委員会での書面投票可決を条件に規格委員会での書面投票を行うことが承認された。

(4-2-9) 環境疲労評価に関する規格の審議【資料 103-21】

（説明者：疲労評価分科会 高橋主査）

- 改定提案に関する公衆審査は意見なしで終了した。ただし、編集上の修正を要する箇所があり、公衆審査版からの修正を行うことが提案された。審議の結果、原子力専門委員会でのメール審議可決を条件に、規格委員会でのメール審議を行うことが承認された。
- 英訳版について、原子力専門委員会での書面投票可決を条件に規格委員会での書面投票を行うことが承認された。

(4-2-10) 発電用原子力設備規格 コンクリート製格納容器規格に関する審議：審議なし【資料 103-22 欠番】

(4-2-11) 発電用原子力設備規格 シビアアクシデント時の構造健全性評価ガイドラインに関する審議【資料 103-23】（説明者：SA 対応分科会 永田主査）

- 公衆審査終了後、修正を必要とする箇所があり原子力専門委員会での書面投票を実施中であること、また、発行済の初版での要修正箇所について、正誤表の発行を提案することが説明された。
- 挙手による採決の結果、原子力専門委員会での書面投票可決を条件に 15 日間の規格委員会書面投票を行うことが承認された。

(4-2-12) 目標信頼性評価に基づく静的機器の構造評価ガイドラインに関する審議【資料 103-24】

（説明者：目標信頼性タスク 岡島幹事）

- 規格委員会書面投票 No. 565 の意見対応の状況について以下の通り説明が行われた。
 - ・意見に基づきガードラインの見直しを含む修正案を検討している
 - ・原子力専門委員会にて、メール審議または書面投票を行うことが承認された。
- 審議の結果、今後実施される原子力専門委員会でのメール審議又は書面投票の可決を条件に規格委員会でも同様のメール審議または書面投票を行うことが承認された。

(4-2-13) 竜巻影響評価ガイドラインに関する審議【資料 103-25】

(説明者：竜巻影響評価分科会 白井主査、清水幹事)

- 改定案に関する書面投票 No. 566 の意見対応案について説明が行われ、審議の中で意見者の了解が得られた。
- 次回 改定案の公衆審査及び現行ガイドラインの正誤表の提案を予定していることが報告された。

(4-2-14) 材料専門委員会策定規格等に関する審議【資料 103-26】(説明者：材料専門委員会 材料規格統合化分科会 山田主査)

- 材料専門委員会で策定を進めてきた新規材料の推奨試験方法の内、既に承認された常温引張試験、高温引張試験に続く最終パートとして、「推奨クリープ・クリープ破断試験方法」の提案説明が行われた。(資料 103-26-1, 2)
- 審議の結果、30 日間の書面投票を行うことが全会一致で承認された。

(5) 発電用設備規格委員会活動状況報告

(5-1) 規格委員会幹事会報告【資料 103-4】

伊阪幹事より 8/22 に開催された第 92 回規格委員会幹事会の概要について説明が行われた。

(5-2) 書面投票結果【資料 103-5】

事務局より書面投票の実施状況について資料により報告された。

(5-3) 公衆審査報告【資料 103-6-1】

事務局より、以下の発電用原子力設備規格の改定案 10 種に関する公衆審査が終了したことが報告され、これらの規格を 2022 年版として制定することが確認された。(表示は審査終了が早い順による)

- ・ JSME S NF1-2022 環境疲労評価手法
- ・ JSME S NC1-2022 設計・建設規格及び事例規格集
- ・ 設計・建設規格 事例規格 弾塑性応答解析に基づく耐震 S クラス配管の耐震設計に関する代替規定案 (NC-CC-008-1)
- ・ JSME S NX2-2022 シビアアクシデント時の構造健全性評価ガイドライン BWR 鋼製格納容器編
- ・ JSME S NX3-2022 シビアアクシデント時の構造健全性評価ガイドライン PWR プレストレストコンクリート製格納容器編
- ・ JSME S NX4-2022 シビアアクシデント時の構造健全性評価ガイドライン PWR 鋼製格納容器編
- ・ JSME S NX5-2022 シビアアクシデント時の構造健全性評価ガイドライン BWR 鉄筋コンクリート製格納容器編
- ・ JSME S NG1-2022 加圧水型原子力発電所 配管減肉管理技術規格
- ・ JSME S NH1-2022 沸騰水型原子力発電所 配管減肉管理技術規格
- ・ JSME S NB1-2022 溶接規格

(5-4) 質問受付回答状況【資料 103-6-2】

事務局より、質問の受付及び回答状況について資料にて報告された。【口頭説明は省略】

(5-5) 火力専門委員会報告【資料 103-7】

火力専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 9/6 WEB 開催された第 101 回火力専門委員会の結果を中心に報告された。
- 次回 第 102 回火力専門委員会は 12 月 5 日に WEB 開催の予定。

(5-6) 原子力専門委員会報告【資料 103-8】

原子力専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 9/8-9 に ハイブリッド形式で開催された第 111 回原子力専門委員会の結果を中心に報告。
- 次回 第 112 回原子力専門委員会は 12/8 に web 開催の予定。

(5-7) 材料専門委員会報告【資料 103-9】

材料専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 9/16 に WEB 開催された第 55 回材料専門委員会の結果を中心に報告。
- 次回 第 56 回材料専門委員会は 12/9 に WEB 開催の予定。

(5-8) 核融合専門委員会報告【資料 103-10】

核融合専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 9/21 に web 開催された第 79 回核融合専門委員会の結果を中心に報告。
- 次回 第 80 回核融合専門委員会は 12/7 または 12/9 に WEB 開催の予定。

(5-9) 規格の規定番号・条項番号等の呼称統一

- 第 102 回規格委員会のトピックスとして、「規格条文の識別番号として、条項番号、規定番号等、複数の呼称が混在しているため、「規定番号」に統一する」との方針が原子力専門委員会より紹介されている。他の専門委員会委員長の了解を得て、同方針を規格委員会の統一方針とすることが確認された。
- これを受けて、質問受付のホームページ及び申請フォームに使用されている「条項番号」について、事務局にて「規定番号」に修正することが了解された。

(6) 委員会運営に関する報告／審議

(6-1) 原子力関連学協会規格類協議会の活動状況報告【資料 103-11-1】

伊阪幹事より規格類協議会の活動状況について報告された。内容は以下のとおり。

- 9/6 に幹事会、9/20 に協議会が開催された。
- 機会学会より、分野（原子力、機械、土木建築）を横断する規格体系化に向けた SMiRT 会議の活用について報告を行った。

(6-2) ピアレビュー活動状況【資料 103-11-2】

伊阪幹事より、ピアレビューの活動状況について報告が行われた。内容は以下のとおり。

- ・レビュー対象を維持規格 2020 年版とする。
- ・現在チェックシートを策定中。10 月には JSME 内関係者にて打ち合わせを行いスタートの予定。

(6-3) ASME Code 委員会に関する報告【資料 103-11-4】

原子力専門委員会 松永委員長より、8/8-8/11 を中心に開催された ASME B&PV Code 委員会のうち、JSME 規格委員会の運営に関連が深いと考えられる次の委員会の概要が報告された。

- ・ SDO Code Convergence Board (8/8 開催) : 添付-1
- ・ Seismic Design Steering Committee (8/5 開催) : 添付-2
- ・ ASME/JSME Joint TG Severe Accident (8/9 開催) : 添付-3
- ・ ASME/JSME Joint WG RIM Process and System Based Code (8/7 開催) : 添付-4

(Plant Systems Design Committee はなし)

また、同 Code Week での ASME Sec. III に関する成果を統括する News Letter について紹介があった。(添付-5)

(6-4) 発電規格 2020 年版の出版状況及び電子配信に関する報告【資料 103-11-7】

事務局より、2020 年版の出版ならびに電子配信の状況について報告があった。内容は以下のとおり。

- 設計建設軽水炉規格、溶接規格、材料規格、維持規格、高速炉規格の各 2020 年版について冊子版の出版、電子配信による閲覧サービス及びダウンロード販売が開始された。
- 事例規格については本体と合本での発行に加え、事例規格集の形で電子版として閲覧サービス及びダウンロード販売を行うことを検討中である。
- 電子配信の契約状況について、未契約の法人については、引き続き加入をお願いしたい。

(7) 今後の予定

次回、次々回の発電用設備規格委員会の開催予定は以下のとおり。

- 第 104 回 発電用設備規格委員会：2022 年 12 月 22 日(木) 10：00～17：00
- 第 105 回 発電用設備規格委員会：2023 年 3 月を予定（後日調整の結果 3/9 開催に確定した）

以 上